

# 基本目標Ⅰ しごと：地域資源を活かし育てるまちづくり

## 1. 基幹産業である農林業の再生・活性化

①1400年の伝統を受け継ぐ『薬草のまち宇陀』の全国発信  
**薬草プロジェクト事業**

大和トウキ  
「推古天皇薬猟壁画」星薬科大学所蔵

②高原野菜等のブランド化  
**特産品等認定開発補助事業**

機能性表示支援事業  
有害鳥獣対策の強化

③宇陀産材の普及及び森林の保全  
**木材出荷促進事業**

宇陀市産木材利用促進事業

## 2. 地域資源を活かした観光戦略

①四季折々の自然をはじめとする宇陀の地域資源で観光地の魅力を創造  
**宿泊事業者誘致事業**

観光誘致促進事業 等  
おもてなしのまちづくり  
～農家レストラン・農家民宿等支援事業～

②健全都市宇陀ならではのスポーツツーリズムの推進  
**選暦野球推進事業**

自転車のまちづくり事業 等

③宇陀のおもてなし、農家レストラン・農家民宿等の支援

④色彩豊かな宇陀づくり  
**かえで植樹推進事業**

宇陀四季彩推進事業

## 3. 地場産業等への支援による仕事づくり

①未来に継承したい宇陀の地場産業等への支援

**企業立地推進事業**

**商品企画支援事業**

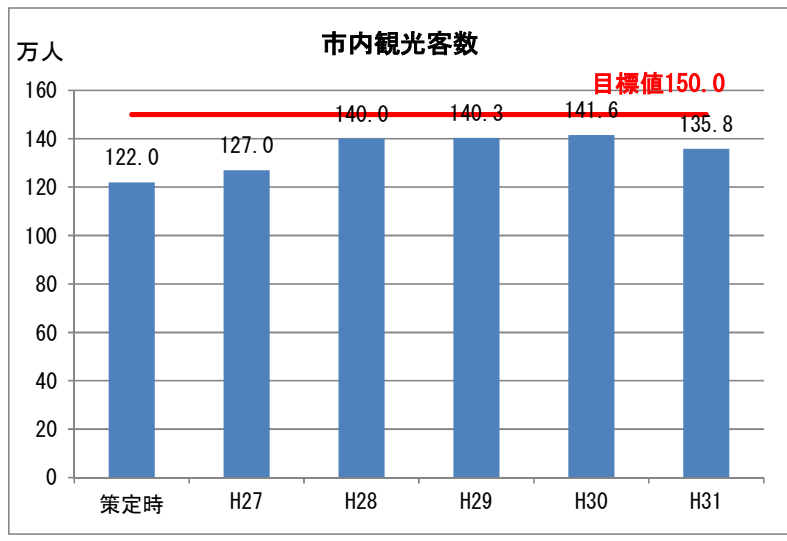
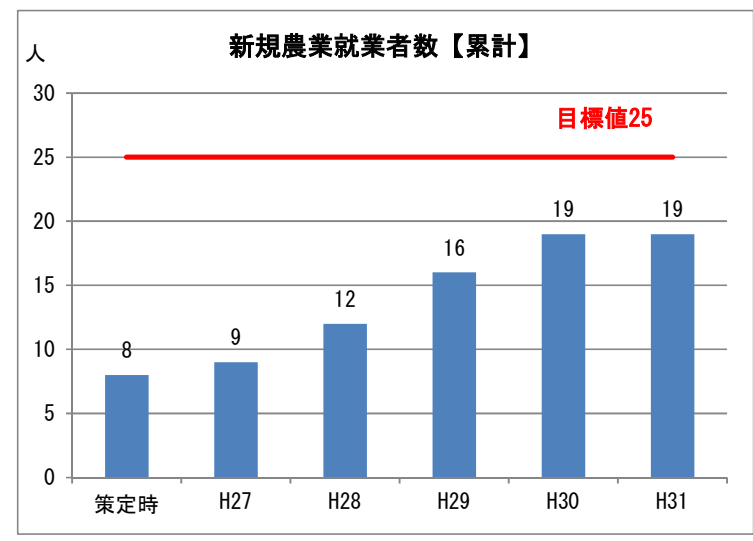
宇陀市伝統技術後継者育成事業 等

②ICT等を活用し、宇陀の産業情報の発信や特産品等をPR販売  
**ICTを活用した中小企業・個人店舗等情報提供事業**

**特産品・名産品PR事業**

指標名	所管課	H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
新規農業就業者数【累計】	農林課	8	9	12	16	19	19	25人	毎年累計数を伸ばしたが、目標値には及ばなかった。新規就農では葉野菜に関する就農以外に、養蜂や果樹栽培での就農もみられ、バリエーションが増えた。H29年度には初めて女性就業者が増えた。	農家の方々の声を伺いながら、制度のPRや支援対策を行う。地域の農業を担う者が、農業機械の更新・導入及びハウスの整備等で、就農の定着や農業経営規模拡大を行うため補助金を交付する。
		-	36.0%	48.0%	64.0%	76.0%	76.0%	%		
		-	D	D	C	C	C	-		
市内観光客数	商工 観光課	122	127	140	140.3	141.6	135.8	150万人	H28年度にかけて、選暦野球やウォーキング・自転車等によるスポーツツーリズムの展開やアニマルパークにより観光客数が大きく伸びた。しかし、インバウンドの取り込みが課題となり、最終的に目標値に届かなかった。また、最終年度は、コロナウィルスの影響もあり、減少に転じている。	地方創生推進交付金を活用し、観光DMO事業等にも積極的に取り組んできたが、市外からの来訪者や外国人にも訪れてもらえるよう、PRを含め、取り組んでいく。また、コロナウィルスの次の段階として、官民を挙げた経済活動の回復の中で、観光対策にも取り組みたい。
		-	84.7%	93.3%	93.5%	94.4%	90.5%	%		
		-	B	B	B	B	B	-		

<進捗状況の推移>



1. 基幹産業である農林業の再生・活性化

1400年の伝統を受け継ぐ薬草産業の復興を目指すとともに、高原野菜のブランド化及び認定を促進し、基幹産業である農林業の取り組みを強化します。  
 ■薬草の生産拡大から関連する商品・サービスの創出等を総合的にを行い、『薬草発祥の地宇陀』から全国に薬草の魅力の発信を行います。  
 ■高原野菜等のブランド化を促進するとともに、6次産業化により、地域ブランド商品の開発を図ります。  
 ■林業の持続的で健全な発展のために、宇陀産材の需要拡大を図ります。

- ①1400年の伝統を受け継ぐ『薬草のまち宇陀』の全国発信  
 ・薬草プロジェクト事業  
 ②高原野菜等のブランド化  
 ・特産品等認定開発補助事業  
 ・機能性表示支援事業  
 ・有害鳥獣対策の強化  
 ③宇陀産材の普及及び森林の保全  
 ・木材出荷促進事業  
 ・宇陀市産材利用促進事業

重要業績評価指標 (KPI)	平成27年基準値	平成31年目標値
✓薬草を活用した商品開発品目数【累計】	0品目	30品目
✓薬草生産者数【累計】	2人	100人
✓機能性表示件数【累計】	0件	10件
✓木材搬出量	8,950㎡	17,150㎡
✓有害鳥獣被害額	11,600千円	8,120千円

1400年の伝統を受け継ぐ『薬草のまち宇陀』の全国発信										
指標名	所管課	H26基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
薬草を活用した商品開発品目数【累計】	産業企画課	0	11	15	20	20	23	30品目	H28年度より地方創生関係交付金を活用した薬草プロジェクト事業を推進してきたことで、年々、累計数を伸ばしたが、目標を達成することができなかった。	商品開発数は、徐々にではあるが増えてきている。薬草という価値を活かした美容・健康関連の商品についての可能性も探っている。
		-	36.7%	50.0%	66.7%	66.7%	76.7%	%		
		-	D	D	C	C	C	-		
薬草生産者数【累計】	産業企画課	2	35	70	80	80	80	100人	薬草プロジェクト事業を推進してきたことで、累計数を伸ばしたが、栽培を推奨した大和トウキの栽培の手間や収入面がネックとなり、継続的な栽培を実施しない生産者も多く、最終的に目標を達成できなかった。	薬草生産者についてもグループでの大規模生産者も増えてきつつある。ただし、栽培に取り組む新たな方がいる一方で、栽培の手間等を理由に辞めてしまう方も居ることから、1反あたりの薬草栽培の収入を上げていくための付加価値も必要である。
		-	35.0%	70.0%	80.0%	80.0%	80.0%	%		
		-	D	C	B	B	B	-		
薬草のまち宇陀市の興味度（講演会参加数）	産業企画課	300	400	500	500	5,000	5,500	5,000人	H29年度には台風による荒天で薬草文化祭の中止になるなどのトラブルもあり参加者が伸び止んだが、H30年度には目標を達成することができた。	薬草協議会とも連携しながら、薬草のまち宇陀に対する認知を深めるための今後も取組みを継続していきたい。
		-	8.0%	10.0%	10.0%	100.0%	110.0%	%		
		-	D	D	D	A	A	-		

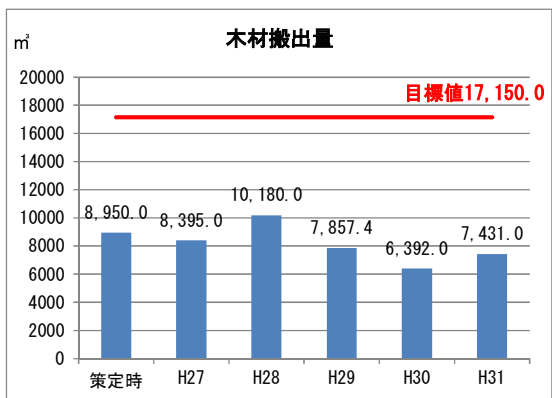
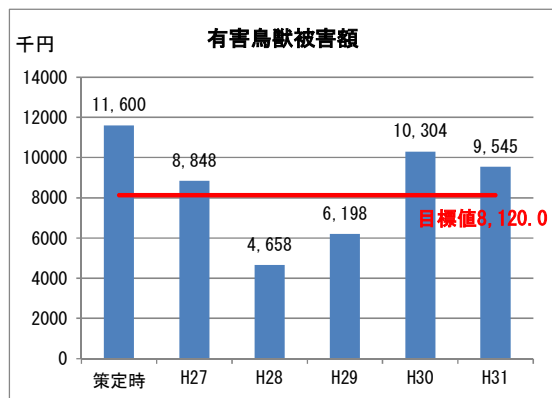
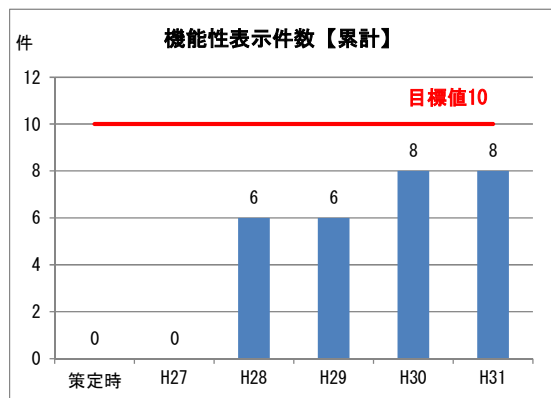
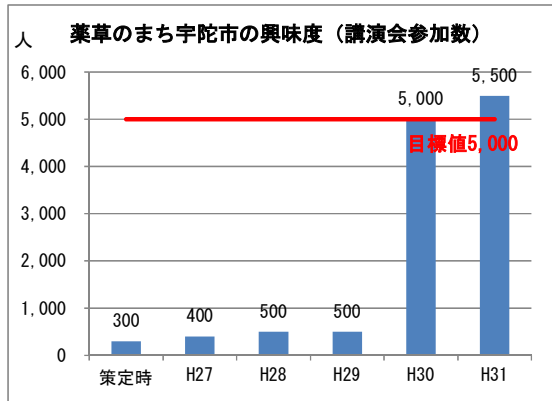
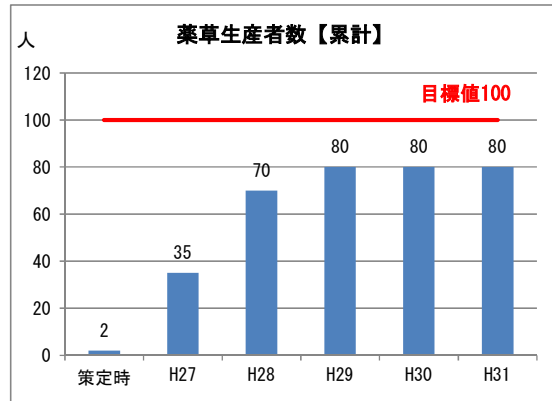
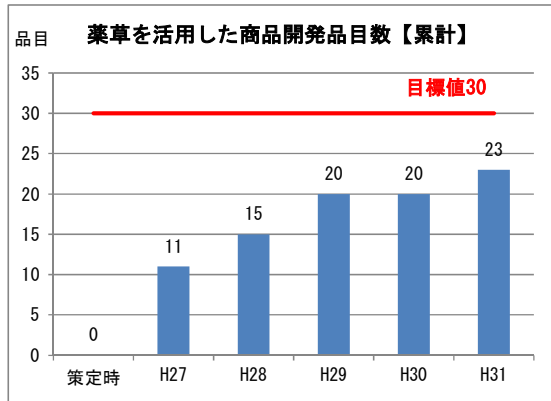
高原野菜等のブランド化										
指標名	所管課	H26基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
機能性表示件数【累計】	産業企画課	0	0	6	6	8	8	10件	H30年度には、「ヘンブ・水菜」の機能性表示が実現でき、H28年度以降、累計件数を伸ばしてきたが、目標を達成することができなかった。	今後も、機能性食品の認知度を上げる取組を展開するとともに、宇陀市薬草協議会とも連携する。
		-	0.0%	60.0%	60.0%	80.0%	80.0%	%		
		-	D	C	C	B	B	-		
有害鳥獣被害額	農林課	11,600	8,848	4,658	6,198	10,304	9,545	8,120千円	H28およびH29年度以外では目標を達成できなかった。被害軽減に向けては、侵入防止を目的とした防除施設の設置と地域での効率的迅速な対策を講じるべく、有害鳥獣防除ライセンスの取得を支援する必要がある。	有害鳥獣対策については、被害を防ぐ観点と駆除を促進する観点と両側面からの施策を講じていく。
		-	79.1%	199.5%	155.2%	37.2%	59.1%	%		
		-	C	A	A	D	D	-		

宇陀産材の普及及び森林の保全										
指標名	所管課	H26基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
木材搬出量	農林課	8,950	8,395	10,180	7,857	6,392	7,431	17150㎡	H29年度は台風21号豪雨被害により、木材の搬出作業ができなかった。また、木材使用量が伸び悩む状況の中では、搬出量を大きく伸ばすことができず、全ての年度で目標値を下回った。	令和元年度に、一条高校の新講堂の床に宇陀産の杉が使われ、密植して丁寧に間伐することで節の少ない良質であるとの評価も受けている。宇陀市産材の良質な品質と高い技術をPRし、需要の創出にも繋げたい。
		-	49.0%	59.4%	45.8%	37.3%	43.3%	%		
		-	D	D	D	D	D	-		

<総合戦略と総合計画との関係性>

政策	宇陀市第1期総合戦略での枠組み			施策	宇陀市第2次総合計画での枠組み			
	1	1	1		目指すまちの姿	施策		
基幹産業である農林業の再生・活性化	1	1	1	1400年の伝統を受け継ぐ『薬草のまち宇陀』の全国発信	活力のあるまち	3	3	2 農林業経営・生産・流通体制の強化
	1	1	2	高原野菜等のブランド化	活力のあるまち	3	3	1 農業生産基盤の整備と農地の保全
	1	1	3	宇陀産材の普及及び森林の保全	活力のあるまち	3	3	2 農林業経営・生産・流通体制の強化 4 森林の保全と多面的利用の促進

<進捗状況の推移>



## 2. 地域資源を活かした観光戦略

自然、歴史、文化、景観など、宇陀市が全国に誇る豊かな地域資源を積極的に活用し、近隣自治体との広域連携をはじめとする観光戦略により、来訪者の増加を図り交流を活発にします。

■宇陀市への関心や興味を持ってもらえるよう、地域の魅力を発信するとともに、様々なイベントの開催や受け入れ態勢を整えます。

■スポーツツーリズムのより一層の普及により、宇陀市民だけでなく、広く市外からの来訪者との交流を深めます。

- ①四季折々の自然をはじめとする宇陀の地域資源で観光地の魅力を創造
- ・宿泊事業者誘致事業
  - ・観光誘致促進事業
  - ・まちなか食べ歩きチケット造成事業
  - ・DMO 設立による広域連携観光事業
  - ・ラッピングトラック補助事業
  - ・外国人観光客向けの Wi-Fi 導入に向けた調査研究事業
- ②健康都市宇陀ならではのスポーツツーリズムの推進
- ・大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト
- ③宇陀のおもてなし、農家レストラン・農家民宿等の支援
- ・おもてなしのまちづくり～農家レストラン・農家民宿支援事業～
- ④色彩豊かな宇陀づくり
- ・かえて植樹推進事業
  - ・宇陀四季彩推進事業

重要業績評価指標 (KPI)	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値
✓ 宿泊観光客数	25,000 人	40,000 人
✓ 新規商品 (着地型含む) の造成数【累計】	1 商品	20 商品
✓ 飲食店・民宿・店舗等数 (新規出店数)【累計】	0 件	10 件
✓ 観光消費額	3,812 百万円	4,970 百万円

四季折々の自然をはじめとする宇陀の地域資源で観光地の魅力を創造										
指標名	所管課	H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
宿泊観光客数	商工観光課	25,000	24,525	25,497	25,500	24,582	16,453	40,000人	宿泊事業者誘致事業の撤回や、大型宿泊施設の宿泊事業が数か月停止したこと、また新型コロナウイルス感染症の影響が年度の後半ででてしまい、設定された目標値には、実数が大きく乖離する結果となった。	新型コロナウイルス感染症の影響で市内宿泊事業の売り上げが下がっているため、その援助策を協議して作成し、宿泊観光客がふえていくような事業を展開する。
		-	61.3%	63.7%	63.8%	61.5%	41.1%	%		
		-	C	C	C	C	D	-		
新規商品 (着地型含む) の造成数【累計】	商工観光課	1	4	7	11	14	18	20商品	日本遺産や伊勢街道、ひな祭りなどの企画ができ、初年度からH30年度にかけて、累計件数を伸ばしてきたが、目標を達成することができなかった。	関係人口として、宇陀市に訪れてもらえるような滞在型観光メニューを民間とともに構築したい。市外や外国人へのPR、ウィズコロナの時代の観光を模索しながら展開していく。
		-	20.0%	35.0%	55.0%	70.0%	90.0%	%		
		-	D	D	D	C	B	-		

健康都市宇陀ならではのスポーツツーリズムの推進										
指標名	所管課	H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
観光消費額	商工観光課	3812	3923	4278	4285.3	4289.8	3937.9	4970百万円	観光消費額は全ての年度で目標値の8割～9割目前であった。さらに観光消費額を伸ばし目標を達成するためには、スポーツツーリズム等の展開が必要となる。	スポーツツーリズムとして遠層野球をはじめ市内外にも浸透し、メディアにも取り上げられた。ただし、宿泊場所がなく、市外に宿泊されたケースもあり、来訪者の市内での消費の拡大の課題を解消したい。
		-	78.9%	86.1%	86.2%	86.3%	79.2%	%		
		-	C	B	B	B	C	-		

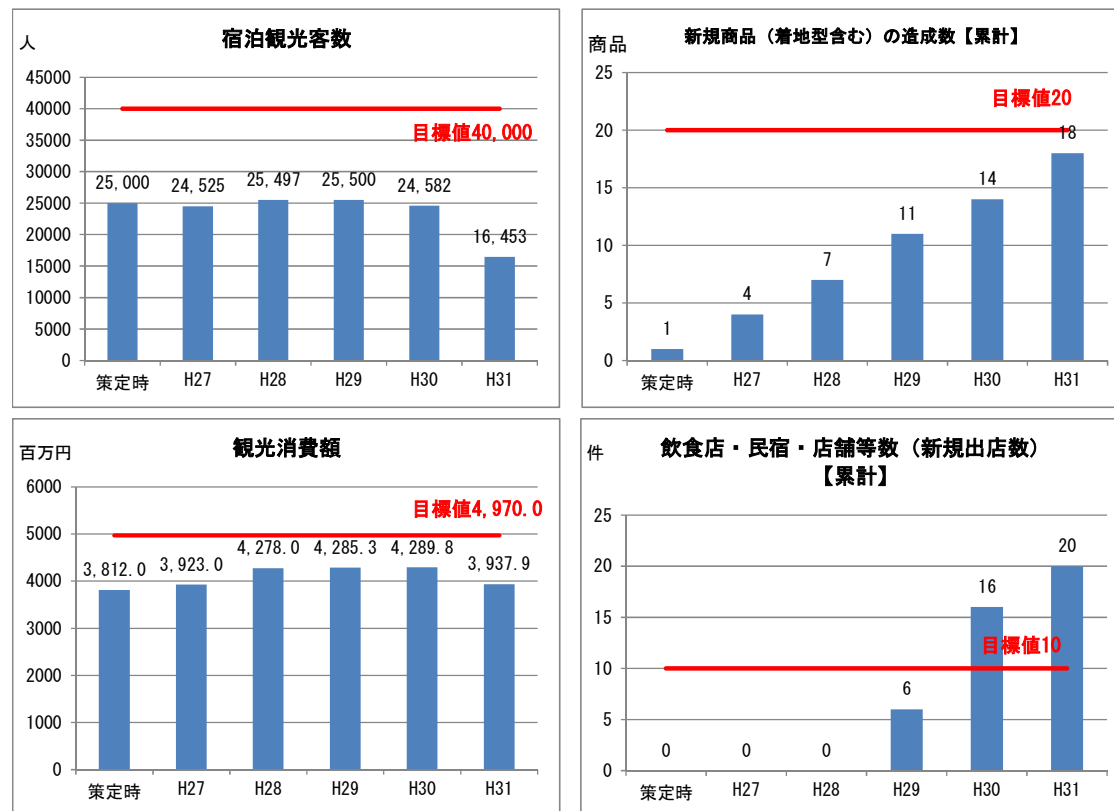
宇陀のおもてなし、農家レストラン・農家民宿等の支援										
指標名	所管課	H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
飲食店・民宿・店舗等数 (新規出店数)【累計】	まちづくり支援課	0	0	0	6	16	20	10件	移住者から移住者に対して空き家の情報提供が行われるネットワークの影響もあり、H30年度には目標を達成することができた。その後も新規出店数を増やすことができた。	移住定住に伴う転入者の増加や地域活性化等の様々な波及効果も生むことができた。今後も、支援制度の周知とともに、支援内容を充実させていく。
		-	0.0%	0.0%	60.0%	160.0%	200.0%	%		
		-	D	D	C	A	A	-		

色彩豊かな宇陀づくり										
指標名	所管課	H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
観光消費額	商工観光課	3812	3923	4278	4285.3	4289.8	3937.9	4970百万円	観光消費額は全ての年度で目標値の8割～9割目前であった。さらに観光消費額を伸ばし目標を達成するためには、スポーツツーリズム等の展開が必要となる。	色彩豊かな宇陀づくりを目指して、室生寺においては秋の紅葉時にライトアップをすることで来場者の増加にも繋がった。コロナの影響もあり厳しい中ではあるが、自然環境の保護及び植栽等を行い、一年を通じた彩り美しい観光地により、観光消費額の向上に努めたい。
		-	78.9%	86.1%	86.2%	86.3%	79.2%	%		
		-	C	B	B	B	C	-		

<総合戦略と総合計画との関係性>

宇陀市第1期総合戦略での枠組み				宇陀市第2次総合計画での枠組み				
政策	施策			目指すまちの姿	施策			
地域資源を活かした観光戦略	1	2	1	四季折々の自然をはじめとする宇陀の地域資源で観光地の魅力を創造	活力のあるまち	3	5	1 観光基盤の維持・整備
						3	5	3 観光誘客の活性化
	1	2	2	健康都市宇陀ならではのスポーツツーリズムの推進	活力のあるまち	3	5	2 地域資源を活かした観光・交流の創出
					生涯輝くまち	4	4	1 スポーツ活動の支援充実
	1	2	3	宇陀のおもてなし、農家レストラン・農家民宿等の支援	活力のあるまち	3	5	2 地域資源を活かした観光・交流の創出
	1	2	4	色彩豊かな宇陀づくり				

<進捗状況の推移>



### 3. 地場産業等への支援による仕事づくり

<p>宇陀市が全国に誇る伝統産業・地場産業が将来へ継承できるように、新しくチャレンジする事業への支援・産業情報や特産品の積極的なPRを行います。</p> <p>■産・官・学の連携及び大手と中小の企業の連携等により、『ひと・もの・かね』が循環するネットワークを構築することで、宇陀市の地場産業や新しい事業の展開を目指します。</p>	<p>①未来に継承したい宇陀の地場産業等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業立地推進事業</li> <li>商品企画支援事業</li> <li>うだチャレンジアシスト補助金事業</li> <li>中小企業等施設改修・設備投資補助事業</li> <li>宇陀市伝統技術後継者育成事業</li> <li>創業・既存企業等支援ネットワーク事業</li> <li>アントレプレナー（起業家）育成循環事業</li> </ul> <p>②ICT等を活用し、宇陀の産業情報の発信や特産品等をPR販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した中小企業・個人店舗等情報提供事業</li> <li>特産品・名産品PR事業</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標 (KPI)</th> <th>平成 27 年基準値</th> <th>平成 31 年目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>✓進出企業数【累計】</td> <td>1 件</td> <td>5 件</td> </tr> <tr> <td>✓市内伝統産業後継者数【累計】</td> <td>0 人</td> <td>12 人</td> </tr> <tr> <td>✓市内事業所の創業件数【累計】</td> <td>1 件</td> <td>5 件</td> </tr> <tr> <td>✓ポータルサイト利用事業者数</td> <td>30 社</td> <td>60 社</td> </tr> </tbody> </table>	重要業績評価指標 (KPI)	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値	✓進出企業数【累計】	1 件	5 件	✓市内伝統産業後継者数【累計】	0 人	12 人	✓市内事業所の創業件数【累計】	1 件	5 件	✓ポータルサイト利用事業者数	30 社	60 社
重要業績評価指標 (KPI)	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値															
✓進出企業数【累計】	1 件	5 件															
✓市内伝統産業後継者数【累計】	0 人	12 人															
✓市内事業所の創業件数【累計】	1 件	5 件															
✓ポータルサイト利用事業者数	30 社	60 社															

#### 未来に継承したい宇陀の地場産業等への支援

指標名	所管課	H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
進出企業数【累計】	産業 企画課	1	0	1	1	1	1	5件	進出企業については、用途変更が必要な場合もあり、興味を示しても、次のステップへ進むことが難しかったこともあり、目標に達することが出来なかった。	コロナの影響から、テレワークやサテライトオフィスのニーズが高まってきていることから、公共施設の活用を絡めながら、小規模でも事業者の誘致を進めたい。
		-	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%		
		-	D	D	D	D	D	D		
市内事業所の創業件数【累計】	産業 企画課	1	1	1	1	2	6	5件	令和元年度に市内事業所の創業件数が4件増え、最終年度で目標に達成することができた。	市内事業所の新規創業については、新たに市内にやってこられた方々の支援を展開したい。また、ネクストコモンズラボ事業における起業者も操業してきており、更なる連携を図りたい。
		-	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	120.0%	%		
		-	D	D	D	D	A	-		
市内伝統産業後継者数【累計】	商工 観光課	0	0	0	0	0	0	5人	伝統産業の後継者を確保できず、目標を達成できなかった。	地場産業の維持発展のためにも、市外からの誘致だけではなく、市内の事業者への支援・育成も重要である。他自治体での事例も参考にし、産業の発展に努めたい。
		-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		-	D	D	D	D	D	-		

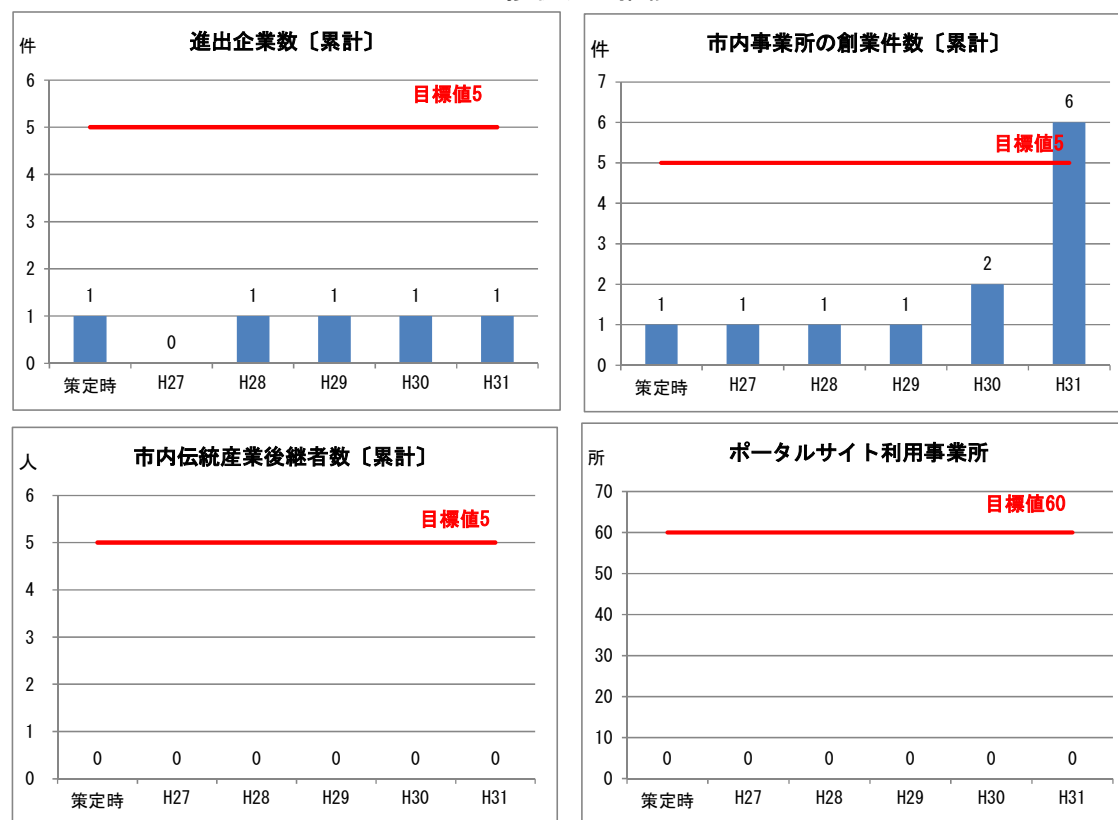
#### ICT等を活用し、宇陀の産業情報の発信や特産品等をPR販売

指標名	所管課	H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
ポータルサイト利用事業所	産業 企画課	0	0	0	0	0	0	60事業所	R1年度に、ようやく創設に至り、主に市の施策を中心に掲載してきたが、事業所の宣伝、施策活動まで利用するには至らなかった。	市内事業者へポータルサイトの更なる周知を行い、利用者を増やしていくと同時に、新型コロナウイルス感染症対策による施策や補助金を中心に掲載し、コロナ時代における事業者支援をおこなっていく。
		-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		-	D	D	D	D	D	-		

#### <総合戦略と総合計画との関係性>

宇陀市第1期総合戦略での枠組み				宇陀市第2次総合計画での枠組み					
政策	施策			目指すまちの姿	施策				
地場産業等への支援による仕事づくり	1	3	1	未来に継承したい宇陀の地場産業等への支援	活力的なまち	3	2	1	雇用の創出
						3	4	2	地元事業所活動の促進・支援
	1	3	2	ICT等を活用し、宇陀の産業情報の発信や特産品等をPR販売	活力的なまち	3	4	3	新たな産業の展開
						3	4	2	地元事業所活動の促進・支援

#### <進捗状況の推移>



# 基本目標Ⅱ ひと：暮らしやすく交流が盛んなまちづくり

## 1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化

### ①働きながら住み続けられるまちの推進

空き家・空き店舗等の活用事業



空き家情報バンク事業

定住促進奨励金交付事業



子育て世代定住支援事業 等

## 3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実

### ①夢を育む教育環境の充実



幼児教育環境充実事業

英語教育推進事業

子どもの夢を育てる「夢教室」事業 等

### ②元気な子どもづくりの推進

学校給食地産地消促進事業



うだ子ども元気づくりプロジェクト事業



平成榛原子供のもり公園再生プロジェクト事業 等

## 2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実

### ①婚活支援イベント等の充実

同窓会開催補助事業（アタック25）



結婚支援事業  
～宇陀カップリングパーティー～

### ②誰もが子どもを産みやすい環境の充実

出産祝い金支給事業



一般不妊治療助成事業

### ③子育て支援の充実

便利な田舎

～宇陀のレシピ事業～



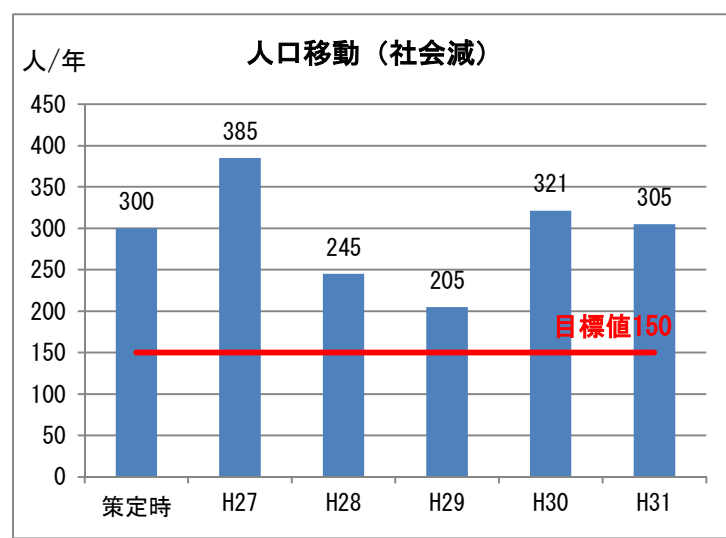
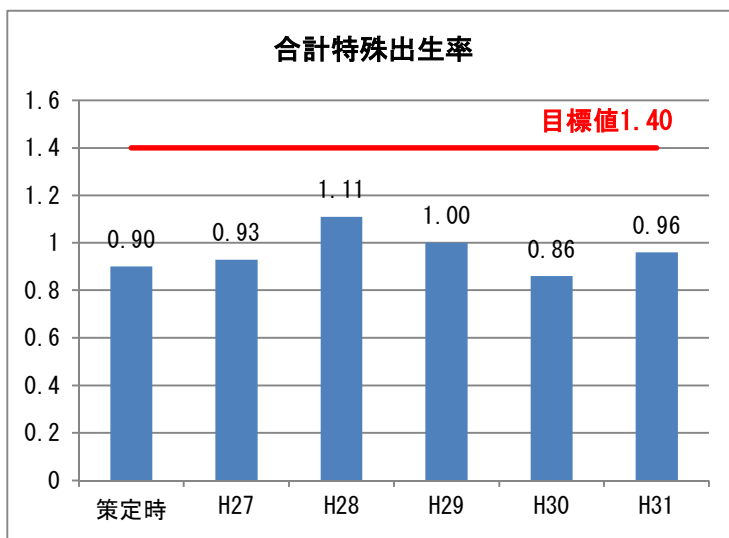
ファミリーサポートセンター事業 等

子どもに育てられる地域づくり  
～地域子育てサポート事業～



指標名	所管課	H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
合計特殊出生率	市民課	0.90	0.93	1.11	1.00	0.86	<b>0.96</b>	1.4	婚姻件数の減少や出生時の母の年齢が45歳以上の方が増加するなどの状況があり、合計特殊出生率は1.0前後を推移し、目標を達成することはできなかった。	各施策での取り組みだけでなく、社会潮流等の外的要因の影響もあり、KPIだけでは、各施策を評価しづらいこともある。宇陀市の現況に合った出産・子育て支援を検討し、展開していく。
		-	66.4%	79.3%	71.4%	61.4%	<b>68.6%</b>	%		
		-	C	C	C	C	<b>C</b>	-		
人口移動（社会減）	市民課	300	385	245	205	321	<b>305</b>	150人/年	目標を達成することはできなかったが、人口移動（社会減）は減少することとなった。	人口異動（社会減）は、減少傾向にある。移住定住や関係人口の創出をはじめ各種施策を講じ、今後も社会減を少なくできるように取り組む。
		-	39.0%	61.2%	73.2%	46.7%	<b>49.2%</b>	%		
		-	D	C	C	D	<b>D</b>	-		

### <進捗状況の推移>



# 1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化

宇陀市への移住・定住を促進するために、ICT等を積極的に活用して、宇陀市の魅力発信に繋がります。  
 ■市外からの転入を増やすだけでなく、市民の転出を食い止めるために、各種情報の発信や定住支援を行います。

## ①働きながら住み続けられるまちの推進

- ・空き家・空き店舗等の活用事業
- ・女性のための就業支援事業
- ・空き家情報バンク事業
- ・定住促進奨励金交付事業
- ・榛原駅周辺若者定住プロジェクト
- ・子育て世代定住支援事業
- ・宇陀の魅力発信事業
- ・宇陀市産木材を活用した市営住宅等の建設

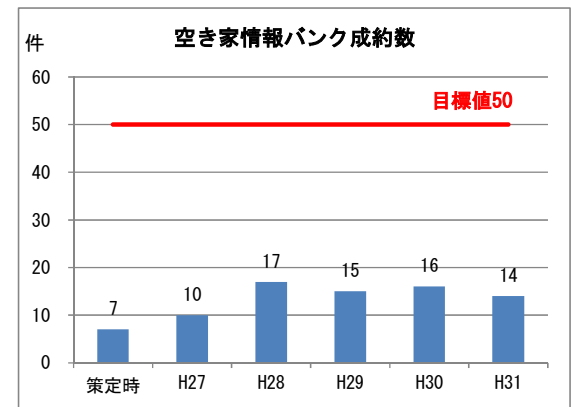
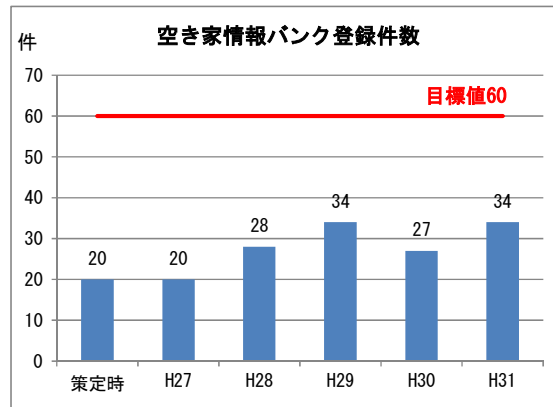
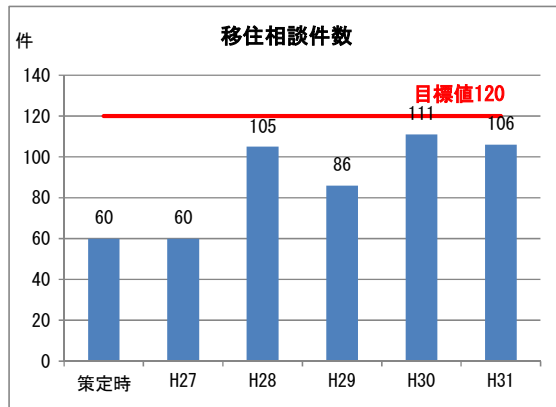
重要業績評価指標 (KPI)	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値
✓移住相談件数	60 件	120 件
✓空き家バンク登録件数	20 件	60 件
✓空き家バンク成約数	7 件	20 件

働きながら住み続けられるまちの推進										
指標名	所管課	H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
移住相談件数	まちづくり支援課	60	60	105	86	111	106	120件	総合戦略の取組み時と比べても大きく増加しており、宇陀市への移住への興味が高くなったことがわかる。環境が良く災害も少なく不便さを感じさせない等の声もあがっている。	相談から実際に移住に繋げることが出来るように、些細な相談でも耳を傾けていく。コロナの影響でテレワークの推進が図られていることから、自然な環境を求めて移住をされたい方に便利な田舎としてのPRを図りたい。
		-	50.0%	87.5%	71.7%	92.5%	88.3%	%		
空き家情報バンク登録件数	まちづくり支援課	20	20	28	34	27	34	60件	宅建業者を介している（売買に耐えられる物件が対象）となっているため、そもそもの物件に限られるほか、個人の財産を貸すという意識が浸透していないことも背景にあり、一定数の登録件数は確保しているものの、目標を達成することはできなかった。	税務課との連携により、県外在住者に固定資産税納税通知書に空き家情報バンクのチラシを封入していることもあり、転出された方が空き家情報バンクに登録したいという相談が増えている。今後も市外への積極的なPRを展開していく。
		-	33.3%	46.7%	56.7%	45.0%	56.7%	%		
空き家情報バンク成約数	まちづくり支援課	7	10	17	15	16	14	50件	相談件数は一定数となっているが、空き家情報バンク成約件数は伸び悩み、目標を達成することはできなかった。	不動産業者との連絡調整を密にし、空き家情報バンクへの登録を増やす中で、成約数の増加を目指す。
		-	20.0%	34.0%	30.0%	32.0%	28.0%	%		

### <総合戦略と総合計画との関係性>

宇陀市第1期総合戦略での枠組み				宇陀市第2次総合計画での枠組み					
政策	施策			目指すまちの姿	施策				
暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化	2	1	1	働きながら住み続けられるまちの推進	暮らしやすいまち	2	2	2	定住につながる環境づくり
						2	2	3	U・I・Jターンの促進

### <進捗状況の推移>



## 2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実

宇陀市民が安心して結婚・出産・子育てを行えるように、切れ目のない支援制度の充実や環境の整備を図ります。  
 ■同窓会やイベントの開催により、出会いやきっかけづくりなどの結婚支援のサポートを図ります。  
 ■妊娠から出産・子育てまで支援制度の充実を図ります。  
 ■子育てに対する個別の支援だけでなく、地域全体で支援する体制を整えます。

- ①婚活支援イベント等の充実
- ・同窓会開催補助事業（アタック25）
  - ・結婚支援事業～宇陀カップリングパーティー～
- ②誰もが子どもを産みやすい環境の充実
- ・出産祝い金支給事業
  - ・一般不妊治療助成事業
- ③子育て支援の充実
- ・便利な田舎～宇陀のレシビ事業～
  - ・三世代ファミリー同居・近居応援事業
  - ・ファミリーサポートセンター事業
  - ・子どもに育てられる地域づくり～地域子育てサポート事業～
  - ・病後児保育事業
  - ・一時預かり事業

重要業績評価指標（KPI）	平成27年基準値	平成31年目標値
✓婚活イベント成婚者数	1組	10組
【累計】		
✓出生届け出件数	144件	175件
✓子育て支援センター利用者数	6,700人	7,500人
✓ファミリーサポート活動件数	130件	250件
✓一時預かり利用者数	1,350人	1,500人

婚活支援イベント等の充実										
指標名	所管課	H26基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
婚活イベント成婚者数【累計】	まちづくり支援課	1	1	1	1	1	1	10組	婚活イベントを通じたカップルの成立は多いが、その後結婚に至り、補助の対象となった方は1組であった。	婚活イベントだけに限らず、婚約数や出生数が減少していることから、行政として可能な範囲での支援をしていく。
		-	10%	10%	10%	10%	10%	%		
		-	D	D	D	D	D	-		

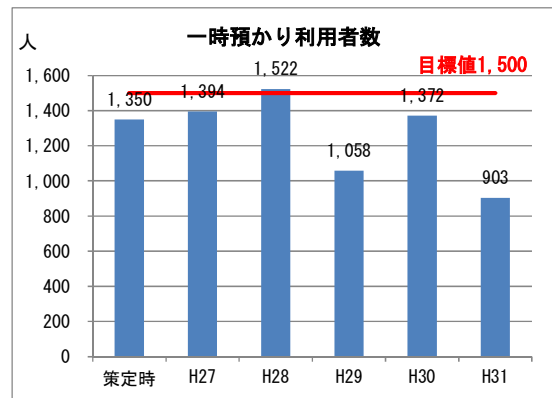
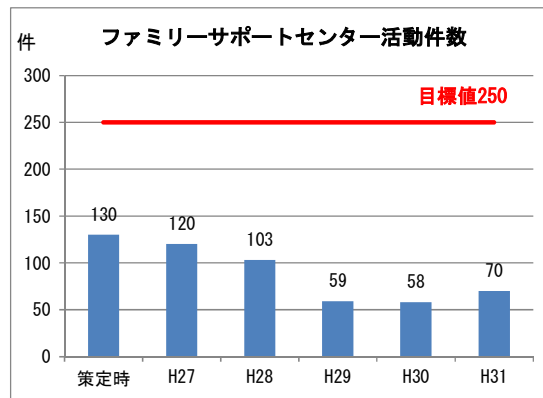
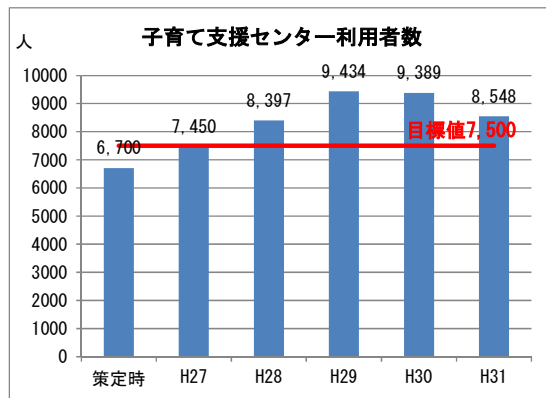
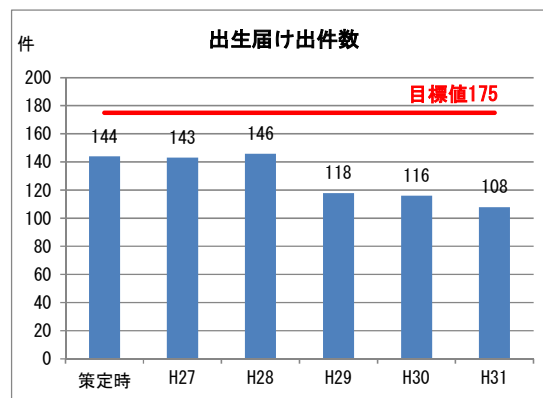
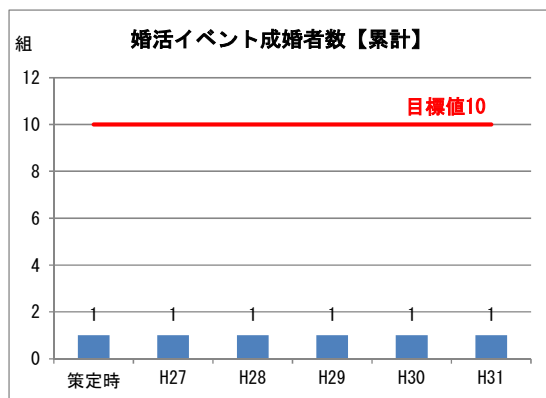
誰もが子どもを産みやすい環境の充実										
指標名	所管課	H26基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
出生届け出件数	市民課	144	143	146	118	116	108	175件	人口減少に伴い、出生数も減少している。生産年齢人口の減少も大きく影響しており、目標に達成することはできなかった。	減少していくことについては、一筋縄では解決できるものではないが、子どもを産みやすい環境をはじめ、様々な施策を講じていく。
		-	81.7%	83.4%	67.4%	66.3%	61.7%	%		
		-	B	B	C	C	C	-		

子育て支援の充実										
指標名	所管課	H26基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
子育て支援センター利用者数	こども未来課	6,700	7,450	8,397	9,434	9,389	8,548	7,500人	利用者は、H27年度から増加し、目標を達成することができた。平成31年4月実施の「子育て支援に関するニーズ調査」の結果では、子育て支援センターの利用満足度は非常に高く、利用者の利用頻度も高いことが要因である。	今後も地域の子育ての支援機能の充実を図り、子育ての支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進したい。
		-	99.3%	112.0%	125.8%	125.2%	114.0%	%		
		-	B	A	A	A	A	-		
ファミリーサポートセンター活動件数	こども未来課	130	120	103	59	58	70	250件	各種事業において、ファミリーサポート事業の案内は行っているものの、まだまだ他人に預けるという抵抗があり、家族や知人に預けるケースも多く、目標を達成することはできなかった。	引き続き、支援の必要な家庭に適切なサービスを提供していく。
		-	48.0%	41.2%	23.6%	23.2%	28.0%	%		
		-	D	D	D	D	D	-		
一時預かり利用者数	こども未来課	1,350	1,394	1,522	1,058	1,372	903	1,500人	平成31年4月実施の「子育て支援に関するニーズ調査」の結果では、就労している母親の割合が7割となり、こども園等に預ける家庭が多い。また、近年の少子化に伴い未就園児が少なくなっており、目標を達成することはできなかった。	多様化する保育需要に対応するため、断続的又は緊急若しくは一時的に保育を必要とする児童に対し、一時的な保育を実施していく。また、今後の継続的な事業実施においては保育士の確保も必要となっている。
		-	92.9%	101.5%	70.5%	91.5%	60.2%	%		
		-	B	A	C	B	C	-		

### <総合戦略と総合計画との関係性>

宇陀市第1期総合戦略での枠組み				宇陀市第2次総合計画での枠組み					
政策	施策			目指すまちの姿	施策				
結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実	2	2	1	婚活支援イベント等の充実	暮らしやすいまち	2	2	2	定住につながる環境づくり
	2	2	2	誰もが子どもを産みやすい環境の充実	健康なまち	1	4	3	国民健康保険・福祉医療費助成の推進
	2	2	3	子育て支援の充実	健康なまち	1	3	2	子育て支援の充実

### <進捗状況の推移>



### 3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実

子どもたちの笑顔がいつもあふれている宇陀市をつくるために、子どもの成長を支えていきます。  
 ■幼児期の教育環境を整えることにより、子どもの能力を向上させ、心身ともに健やかな成長を支援します。  
 ■就学前・小学校・中学校の連携を充実させ、『生きる力を育む教育』の充実や『豊かな地域教育力』の構築を図ります。  
 ■子どもたちの市・地域への郷土愛の醸成を図りながら、次世代を担う子どもの育成を目指します。

- ①夢を育む教育環境の充実
- ・幼児教育環境充実事業
  - ・英語教育推進事業
  - ・子どもの夢を育てる「夢教室」事業
  - ・放課後学習支援事業
  - ・学びの広場UDAプラン・学力向上推進事業
  - ・学力学習状況調査事業
  - ・学校・地域パートナーシップ事業
  - ・中学校・乳幼児ふれあい体験事業
  - ・プログラミング教育推進事業
- ②元気な子どもづくりの推進
- ・学校給食地産地消促進事業
  - ・うだ子ども元気づくりプロジェクト事業
  - ・平成榛原子供のもり公園活性化事業
  - ・子どもフェスタ事業

重要業績評価指標 (KPI)	平成27年基準値	平成31年目標値
✓預かり保育利用者数	5,000人	6,000人
✓自尊意識・地域との関わり等を肯定的に答えた児童生徒の割合	「自分の良い所」小 75.2% (76.4%) 中 62.3% (68.1%) 「将来の夢や目標」小 87.0% (86.5%) 中 69.1% (71.7%) 「地域の行事参加」小 71.1% (66.9%) 中 50.2% (44.8%)	基準値から5%増
※基準値の( )内の数値は全国平均		
✓学校給食地産地消率(野菜・きのこ類)	10.5%	35.0%

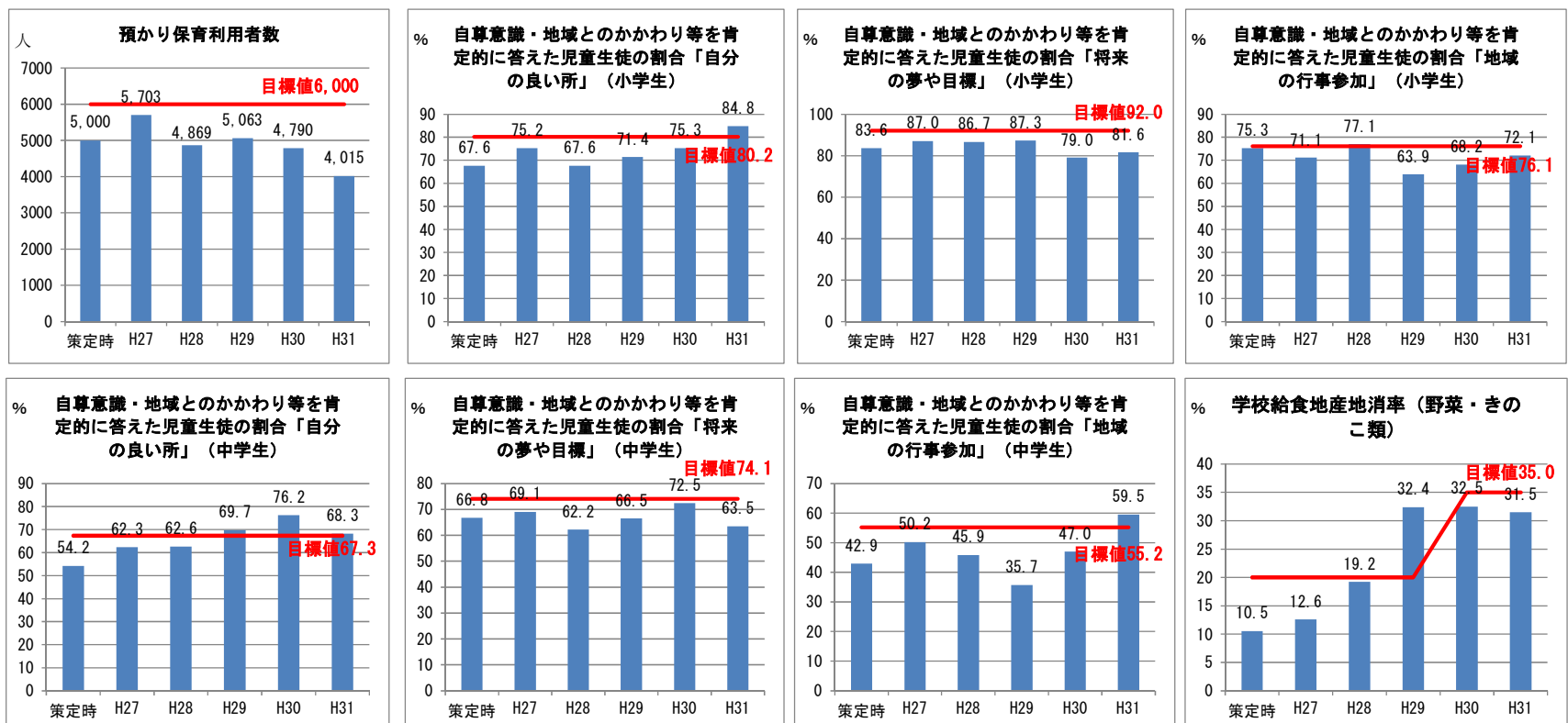
指標名	所管課	H26基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
預かり保育利用者数	こども未来課	5000	5703	4869	5063	4790	4015	6,000人	平成31年4月実施の「子育て支援に関するニーズ調査」の結果では、就労している母親の割合が7割となり、こども園等に預ける家庭が多い。また、近年の少子化に伴い未就園児が少なくなっており、目標を達成することはできなかった。	今後も引き続き実施していくため、事業実施に必要な体制確保(保育士の確保)を図る。
自尊意識・地域との関わり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「自分の良い所」(小学生)	教育総務課	67.6	75.2	67.6	71.4	75.3	84.8	80.2%	徐々に割合が増加しており、目標を達成することができた。	一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識することができるような授業づくりや学級・学校経営を推進する。
自尊意識・地域との関わり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「将来の夢や目標」(小学生)	教育総務課	83.6	87	86.7	87.3	79	81.6	92.0%	最終的、達成率が9割に迫るまで上昇したものの、惜しくも目標を達成することができなかった。	児童が学ぶことと自己の将来とのつながりを実感しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を身に付けることができるよう、特別活動を要とした各教科等で、キャリア教育の充実を図る。
自尊意識・地域との関わり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「地域の行事参加」(小学生)	教育総務課	75.3	71.1	77.1	63.9	68.2	72.1	76.1%	最終的、達成率が9割を超えたものの、惜しくも目標を達成することができなかった。	地域の行事に参加する児童の割合は、全国平均よりも高い傾向にあり、今後とも積極的な参加を促す。
自尊意識・地域との関わり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「自分の良い所」(中学生)	教育総務課	54.2	62.3	62.6	69.7	76.2	68.3	67.3%	徐々に割合が増加しており、目標を達成することができた。	一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識することができるような授業づくりや学級・学校経営を推進する。
自尊意識・地域との関わり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「将来の夢や目標」(中学生)	教育総務課	66.8	69.1	62.2	66.5	72.5	63.5	74.1%	達成率は9割前後で推移したものの、惜しくも目標を達成することができなかった。	生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを実感しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を身に付けることができるよう、特別活動を要とした各教科等で、キャリア教育の充実を図る。
自尊意識・地域との関わり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「地域の行事参加」(中学生)	教育総務課	42.9	50.2	45.9	35.7	47	59.5	55.2%	徐々に割合が増加しており、目標を達成することができた。	地域の行事に参加する生徒の割合は、全国平均を上回る傾向にあり、今後とも積極的な参加を促す。

指標名	所管課	H26基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
学校給食地産地消率(野菜・きのこ類)	学校給食センター	10.5	12.6	19.2	32.4	32.5	31.5	35%	H29年度に目標を達成して以降は目標値を上方修正し取り組んできた。上方修正した目標値までは届かなかったが、取組当初から地産地消の給食を推進できた。	地産地消率の更なる向上には、生産者との情報交換、共同での献立検討など、新たな取組みや工夫が必要となる。

#### <総合戦略と総合計画との関係性>

政策	宇陀市第1期総合戦略での枠組み			宇陀市第2次総合計画での枠組み					
	政策	施策	実施	目指すまちの姿	施策	実施			
子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実	2	3	1	夢を育む教育環境の充実	生涯輝くまち	4	2	1	学校教育内容の充実
						4	2	2	学校の教育環境の充実
	2	3	2	元気な子どもづくりの推進	生涯輝くまち	4	3	2	地域の教育力の醸成
						4	2	2	学校の教育環境の充実
				自然豊かなまち	5	3	1	公園・緑地の維持・管理	

#### <進捗状況の推移>





# 基本目標Ⅲ まち：地域が連携した安心・安全なまちづくり

## 1. 地域連携の強化

### ①市民が主役の地域づくり・まちづくりによる地域連携の強化

活力ある地域づくりは、まち協から



高齢者等見守り隊



ウェルネスシニア健康学校



安心・安全なまちづくり事業

### ①健幸を目指したウェルネスシティの推進

ウェルネスシティ“うだ”推進事業

1. 病気の予防と健康づくり

2. 子どもたちの体力向上

3. 介護予防と生きがいつくり

4. 歩きたくなる、仕事が続けられる環境づくり

5. ともに支えあう地域づくり

6. 地域包括ケアシステムの構築



宇陀市地域包括ケアシステム推進事業



### ①小さな拠点づくり

近鉄榛原駅周辺地区のまちづくり

宇陀松山周辺地区のまちづくり



うだの古市場地区周辺のまちづくり

室生口大野駅周辺及び室生寺門前地区のまちづくり

### ②地域公共交通の整備

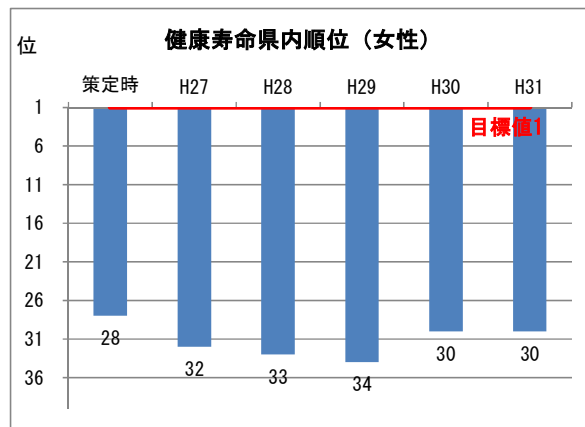
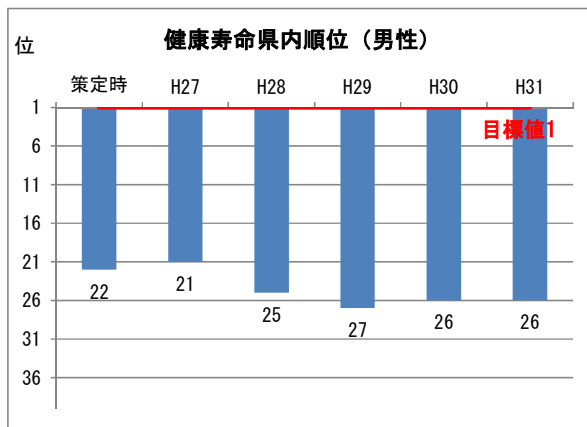
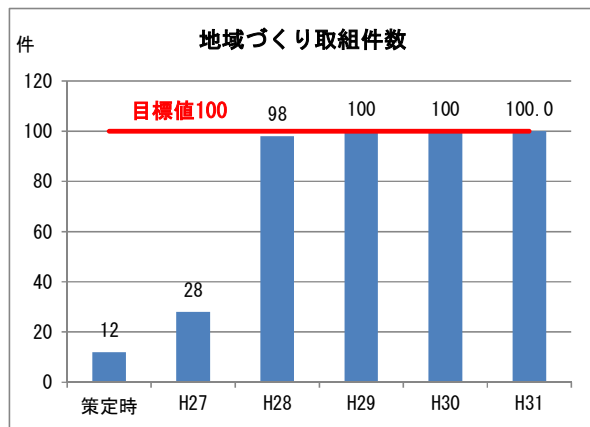
持続可能な地域公共交通ネットワーク形成事業

## 2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現

## 3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現

指標名	所管課	H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
地域づくり取組件数	まちづくり支援課	12	28	98	100	100	100	100件	市内全域でまちづくり協議会を設立し、目標を達成した。	まちづくり協議会の役員方々の高い意識を力にし、今後も引き続きまちづくり活動を推進する。
		-	28.0%	98.0%	100.0%	100.0%	100.0%	%		
		-	D	B	A	A	A	-		
健康寿命県内順位（男性）	健康増進課	22	21	25	27	26	26	1位	健康寿命は県内順位で20位台を推移し、目標を達成することはできなかった。	改善に向けては、検診や運動の習慣化のほかに介護予防の観点も重要となる。今後も健康寿命の延伸に向けて、健康増進、生きがいつくり、医療の充実等とともに取り組んでいく。
		-	4.8%	-14.3%	-23.8%	-19.0%	-19.0%	%		
		-	D	D	D	D	D	-		
健康寿命県内順位（女性）	健康増進課	28	32	33	34	30	30	1位	健康寿命は県内順位で30位台を推移し、目標を達成することはできなかった。	改善に向けては、検診や運動の習慣化のほかに介護予防の観点も重要となる。今後も健康寿命の延伸に向けて、健康増進、生きがいつくり、医療の充実等とともに取り組んでいく。
		-	-14.8%	-18.5%	-22.2%	-7.4%	-7.4%	%		
		-	D	D	D	D	D	-		

<進捗状況の推移>



# 1. 地域連携の強化

まちづくり協議会を中心に、地域の連携と地域の課題解決を図り、市民が主役の地域づくり・まちづくりを目指します。  
 ■地域全体で身近な支え合いを行うことで、市民の健康で安心した生活に繋がります。  
 ■医療介護・防災への対応力を高めるため、宇陀市とその周辺地域との連携を強化できるように支援します。

①市民が主役の地域づくり・まちづくりによる地域連携の強化  
 ・活力ある地域づくりは、まち協から  
 ・ウェルネスシニア健康学校  
 ・高齢者等見守り隊  
 ・安心・安全なまちづくり事業

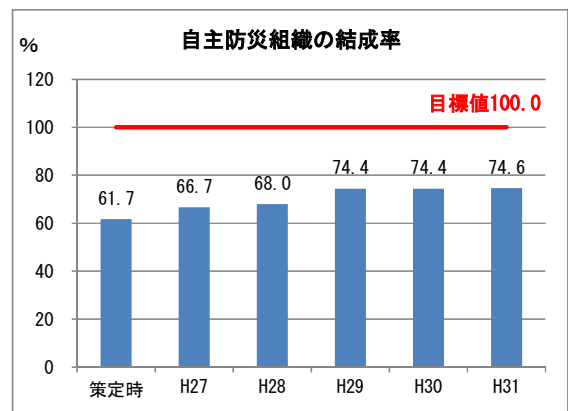
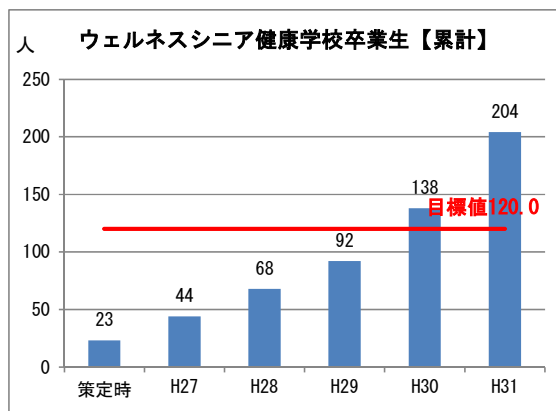
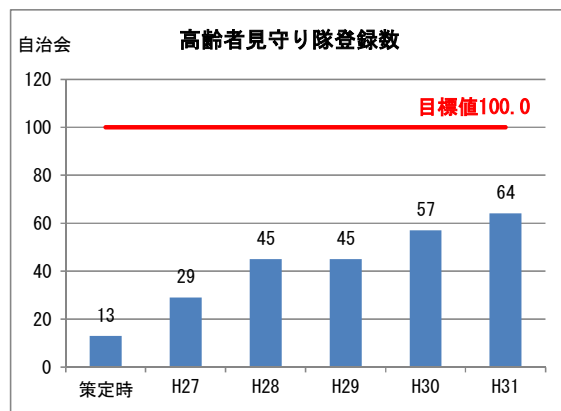
重要業績評価指標 (KPI)	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値
✓高齢者見守り隊登録数	13 自治会	100 自治会
✓自主防災組織の結成率	61.66%	100%
✓ウェルネスシニア健康学校卒業生	40 人	120 人

指標名	所管課	H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
高齢者見守り隊登録数	介護福祉課	13	29	45	45	57	64	100自治会	自治会やまちづくり協議会とも連携しながら取組みを進め、確実に登録数を伸ばしてきたものの、目標を達成することはできなかった。	昨今、一人暮らしの高齢者が増えていることから、重要度が増してきている。高齢者サポート隊事業の実施地域も徐々に拡大しており、今後も継続していく。
		-	29.0%	45.0%	45.0%	57.0%	64.0%	%		
		-	D	D	D	D	C	-		
ウェルネスシニア健康学校卒業生【累計】	健康増進課	23	44	68	92	138	204	120人	高齢者の事業に対する関心が高かったこともあり、H30年度以降に累計数を大きく伸ばし、目標を達成することができた。	新しい生活様式に基づく運営方法のもと、今後も仲間づくりに繋げていく。
		-	36.7%	56.7%	76.7%	115.0%	170.0%	%		
		-	D	D	C	A	A	-		
自主防災組織の結成率	危機管理課	61.7	66.7	68.0	74.4	74.4	74.6	100%	近年の災害の増加により、市民の防災意識が高まってきていたが、H29年度以降は結成率が伸び悩み、目標を達成することができなかった。	災害に対する住民の意識は近年高まってきていることから、未設立自治会へ自主防災組織設立について説明するなど、啓発活動に注力する。
		-	66.7%	68.0%	74.4%	74.4%	74.6%	%		
		-	C	C	C	C	C	-		

## <総合戦略と総合計画との関係性>

宇陀市第1期総合戦略での枠組み				宇陀市第2次総合計画での枠組み					
政策	施策			目指すまちの姿	施策				
地域連携の強化	3	1	1	市民が主役の地域づくり・まちづくりによる地域連携の強化	健全なまち	1	2	1	市民の協働と参画の推進
					暮らしやすいまち	2	1	3	防犯体制と消費者保護の強化
					自然豊かなまち	2	4	2	防犯体制と消費者保護の強化
					地域力を発揮するまち	5	3	1	公園・緑地の維持・管理
					地域力を発揮するまち	6	1	2	市民の協働と参画の推進
地域力を発揮するまち	6	4	1	地域力の向上・強化					

## <進捗状況の推移>



## 2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現

市民の誰もが健康で幸せと思えるまち、生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れるまちづくりを推進します。

- 市民一人ひとりが楽しみながら、日常的に運動に取り組めるような仕組みを充実します。
- 地域の人々が健康イベントで顔を合わすことで、人のつながりを強化するとともに、健康増進意識の向上を目指します。
- 高齢となって介護が必要となっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」「すまい」が適切に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指します。

### ①健幸を目指したウェルネスシティの推進

- ・ウェルネスシティ“うだ”推進事業
- ・宇陀市地域包括ケアシステム推進事業
- ・地域医療介護連携 ICT 推進事業（宇陀けあネット）
- ・市立病院の医療体制整備

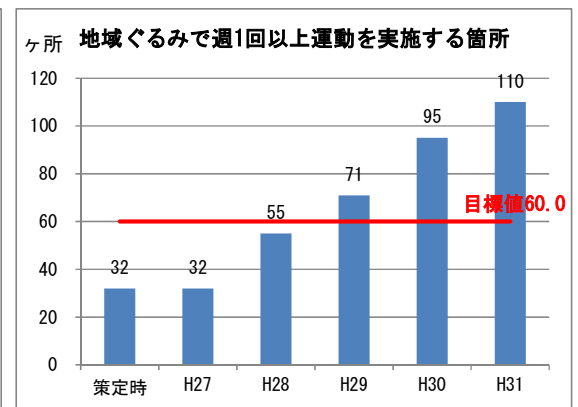
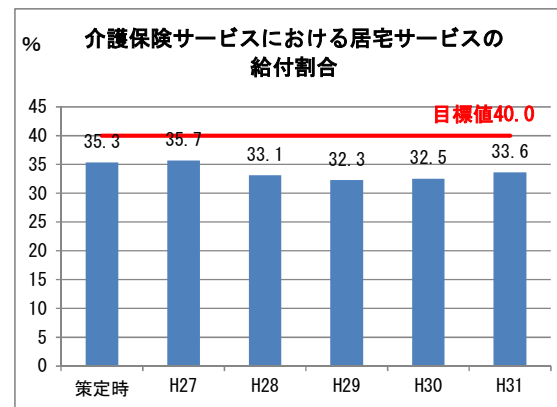
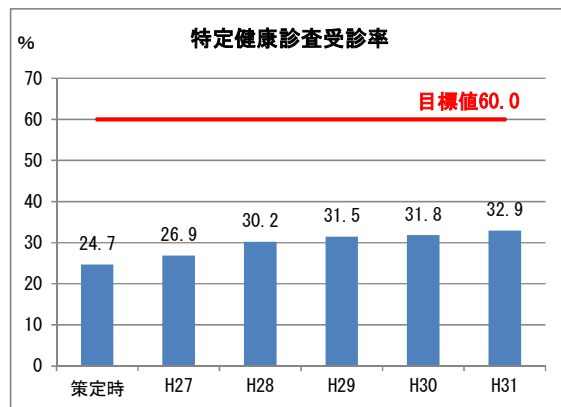
重要業績評価指標 (KPI)	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値
✓特定健康診査受診率	24.7%	60%
✓介護保険サービスにおける居宅サービスの給付割合	35.3%	40%
✓医療介護あんしんセンター認知度	47.8%	60%
✓訪問診療認知度	67.0%	70%
✓認知症に気づいてから 6 か月以内相談や受診する割合	15.7%	30%
✓地域ぐるみで週 1 回以上運動を実施する箇所	32 か所	60 か所

健幸を目指したウェルネスシティの推進										
指標名	所管課	H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
特定健康診査受診率	健康増進課	24.7	26.9	30.2	31.5	31.8	32.9	60%	特定健康診査受診率は、未受診者への電話やハガキ通知、うだチャンやキャンペーンでの啓発等により増加傾向にはあったが、達成率は5割程度の推移となった。	受診率の向上に向けて、引き続き啓発活動を展開していく。
		-	44.8%	50.3%	52.5%	53.0%	54.8%	%		
		-	D	D	D	D	D	-		
介護保険サービスにおける居宅サービスの給付割合	介護福祉課	35.3	35.7	33.1	32.3	32.5	33.6	40%	給付割合は8割の推移となり、惜しくも目標を達成することができなかった。	ウェルネスシティの推進に向けて、「高齢になり介護が必要となっても、住み慣れた地域で、市民の方々が身体面だけでなく、生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送る」ことを目指す。
		-	89.3%	82.8%	80.8%	81.3%	84.0%	%		
		-	B	B	B	B	B	-		
地域ぐるみで週1回以上運動を実施する箇所	医療介護あんしんセンター	32	32	55	71	95	110	60ヶ所	平成30年度には、いきいき体操55箇所・おはようラジオ体操40箇所と目標を達成することが出来た。	地域ぐるみで運動することで、介護予防や地域の絆を強めることにも繋がる。今後も地域のつながりを重視しながら、運動の習慣化を図っていきたい。
		-	53.3%	91.7%	118.3%	158.3%	183.3%	%		
		-	D	B	A	A	A	-		

### <総合戦略と総合計画との関係性>

宇陀市第1期総合戦略での枠組み				宇陀市第2次総合計画での枠組み					
政策	施策			目指すまちの姿	施策				
健幸都市 ウェルネスシティ宇陀市 の実現	3	2	1	健幸を目指したウェルネスシティの推進	健幸なまち	1	1	1	健康づくり活動の支援
						1	1	3	介護予防の推進
						1	4	1	医療体制の充実
						1	4	2	地域医療と福祉の連携の推進

### <進捗状況の推移>



### 3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現

市街地や地域の拠点をネット（網状）で結ぶことで、各地域の中心地及び市街地周辺へのアクセスを向上させ、市民生活に身近な商店街や公共施設、快適な住環境が整ったコンパクトなまちづくりの実現を目指します。

また、地域住民・交通事業者・行政が一体となって持続可能な地域公共交通を育てることによって、地域間の連携を強化します。

■コンパクトなまちづくりに向けて、県と市が連携協定を締結のうえ、協働でプロジェクトを実施し、駅前のアクセスや利便性を向上させるとともに、都市機能を充実させる各種施設を整備し、多くの人々が集まれるようにします。

■地域資源を活用して市外からの来訪者を受け入れるだけでなく、地域住民の生活が向上するようなまちづくりを行います。

■公共交通が生活に密着し、より利用しやすいものとなるように、地域住民・交通事業者・行政が一体となって検討していきます。

- ①小さな拠点づくり
- ・近鉄榛原駅周辺地区のまちづくり
  - ・宇陀松山周辺地区のまちづくり
  - ・うたの古市場地区周辺のまちづくり
  - ・室生口大野駅周辺及び室生寺門前地区のまちづくり
- ②地域公共交通の整備
- ・持続可能な地域公共交通ネットワーク形成事業

重要業績評価指標（KPI）	平成27年基準値	平成31年目標値
✓ 榛原駅周辺事業所の年間売上高	約2.1億円	約2.6億円
✓ 重伝建地区（宇陀松山）訪問客数	28万人/年	35万人/年
✓ 室生寺周辺訪問客数	19万人/年	30万人/年
✓ 「奈良カエデの郷ひらら」周辺訪問客数	2万人/年	5万人/年

指標名	所管課	H26基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	達成状況	今後の対応方針
榛原駅周辺事業所の年間売上高	商工観光課まちづくり推進課	2.1	2.0	1.9	2.0	2.0	2	2.6億円	計画の根幹となる重要整備事業に「健康増進拠点づくり」の主要事業としての宿泊事業者誘致事業と公園等整備事業、榛原駅周辺の整備事業計画の見直しなどもあり、目標を達成することができなかった。	整備計画の策定～事業実施に取り組む。
		-	76.9%	73.1%	76.9%	76.9%	76.9%	%		
		-	C	C	C	C	C	-		
重伝建地区（宇陀松山）訪問客数	商工観光課まちづくり推進課	28.0	29.0	30.0	34.1	30.4	30.9	35万人/年	重伝建地区の認知度向上等に伴い、徐々にではあるが増加傾向にあった。しかし、又兵衛桜の開花時期などがずれ込むこともあり、年度によっては厳しい年もあった。	まちづくり基本計画の策定～事業実施に取り組む。
		-	82.9%	85.7%	97.4%	86.9%	88.3%	%		
		-	B	B	B	B	B	-		
室生寺周辺訪問客数	商工観光課まちづくり推進課	19.0	14.6	15.0	15.3	15.0	15	30万人/年	室生寺への参拝者は5月のシャクナゲの季節や秋の紅葉ライトアップの時は増加しているが、その他の季節においては減少傾向にあった。	まちづくり基本計画の策定～事業実施に取り組む。
		-	48.7%	50.0%	51.0%	50.0%	50.0%	%		
		-	D	D	D	D	D	-		
「奈良カエデの郷ひらら」周辺訪問客数	商工観光課まちづくり推進課	2.0	2.3	2.4	3.7	4.6	4.3	5万人/年	H29年度以降、インバウンド観光客に対する体験メニューによる誘客やコスプレ団体の誘客等を積極的にPRしたり、施設の持つ独特な魅力による事業展開が誘客に結びついている。	まちづくり基本計画の策定～事業実施に取り組む。
		-	46.0%	48.0%	74.0%	92.0%	86.0%	%		
		-	D	D	C	B	B	-		

#### <総合戦略と総合計画との関係性>

宇陀市第1期総合戦略での枠組み				宇陀市第2次総合計画での枠組み					
政策	施策			目指すまちの姿	施策				
誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現	3	3	1	小さな拠点づくり	活力のあるまち	3	1	2	歴史・文化資源の整備と充実
	3	3	2	地域公共交通の整備	暮らしやすいまち	2	3	2	地域公共交通の充実

#### <進捗状況の推移>

